

**製品名: PPARA マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81539**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	52.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PPARA
別名	PPAR; NR1C1; hPPAR; PPARalpha
遺伝子 ID	5465.0
SwissProt ID	Q07869
免疫原	大腸菌で発現したヒト PPARA (AA: 1-120) の精製された組み換え断片。

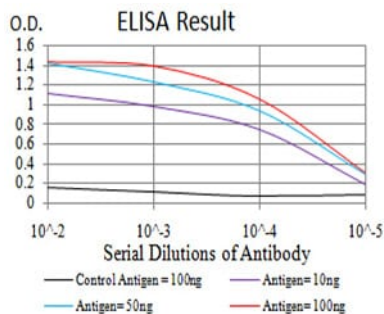
**背景**

ペルオキシソーム増殖剤には、高脂血症薬、除草剤、ロイコトリエン拮抗薬、可塑剤などがあり、これらの物質がペルオキシソームのサイズと数の増加を引き起こすことからこの用語が生まれました。ペルオキシソームは、植物や動物に見られる細胞内小器官で、

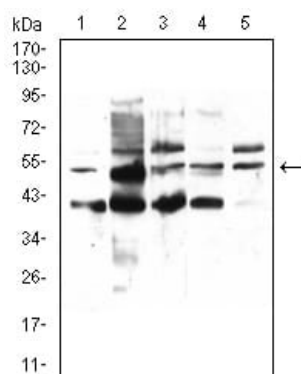
呼吸、コレステロールおよび脂質代謝の酵素を含んでいます。ペルオキシソーム増殖剤の作用は、ステロイドホルモン受容体スーパーファミリーに属する PPAR と呼ばれる特定の受容体を介して媒介されると考えられています。PPAR は、細胞増殖、細胞分化、免疫応答および炎症応答に関与する標的遺伝子の発現に影響します。密接に関連する 3 つのサブタイプ (アルファ、ベータ/デルタ、ガンマ) が特定されています。この遺伝子は、核転写因子であるサブタイプ PPAR-アルファをコードしています。この遺伝子には複数の選択的スプライシングによる転写バリエーションが記載されていますが、完全長の性質が決定されているのは 2 つだけです。

## 研究分野

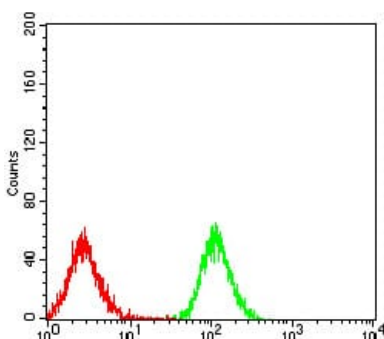
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



HepG2 (1)、HEK293 (2)、COS7 (7)、HepG2 (4)、および Jurkat (5)細胞溶解物に対する PPARA マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



PPARA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。